

## 単元名 熟語の成り立ち

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 第6学年までに配当されている漢字を読むとともに、語句の構成や変化について理解したり、文や文章の中で使ったりすることができる。  
(3) 熟語の構成についての理解を深め、熟語を調べたり書いたりしようとする。

## 標準的な展開例

06010204\_001

【教材名】熟語の成り立ち (P. 100～P. 101)

【準備等】国語辞典，漢字辞典

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 これまでの漢字学習を想起し、単元の学習のめあてをつかむ。 ★熟語の成り立ちについて調べよう。 ○二字の漢字からできている熟語の成り立ちについて知る</p> <p>○既習の教材文などから二字熟語を見付け、4種類に分類する。 ○漢字三字の熟語のでき方の特徴を捉える。</p> <p>2 漢字四字以上の熟語の成り立ちについて理解する。 ○日常生活でよく使っている四字の熟語を発表し合う。</p> <p>○四字の熟語の構成について知る。</p> <p>○知っている熟語をつなげて、長い熟語を作る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記号などを使って、二つの漢字の関係を視覚的につかませる。</li> <li>・漢字辞典を使って、意味を調べさせる。</li> <li>・ワークシートを準備しておき、整理させる。</li> <li>・○+○○や○○+○など、記号化してまとめさせると、熟語の成り立ちを視覚的につかませることができる。</li> <li>【評】二字・三字の熟語を分類する活動を通して、熟語の構成について理解しようとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> <li>・教科書の例を使ってまとめさせるとともに、身近な熟語を探して分類させながら習熟を図る。</li> <li>【評】二字・三字の熟語を分類する活動を通して、「知識・技能」を評価する。</li> <li>・なかなか出ない場合は、教科書の例を参考にさせる。</li> <li>・意味が分からないときには、辞書を使って調べることができるように、国語辞典や漢字辞典を用意しておくといよい。</li> <li>・発表により出てきた熟語や教科書の例示の熟語を、板書で整理してまとめる。</li> <li>・グループやペアで考えさせたり、ゲーム形式を取り入れたりしてもよい。</li> <li>【評】四字以上の熟語を作る活動を通して、「知識・技能」を評価する。</li> </ul>

【 備 考 】